

ーリング

⑤ 講 師

日本オリエンテーリング委員会専門員	草間 幹雄
同	1級指導員 佐藤 克巳
同	同 鳴田 勉
同	2級指導員 黒沢 勝利
同	3級指導員 橋元 次男
同	同 松本 慶夫
日本赤十字社救急法指導員	山崎 正司
県教育庁保健体育課指導主事	佐藤 十次

⑥ 概 況

第1次講習に続いて70名の参加があり、参加者は立派な施設と環境の中で、熱心に受講した。最終日の資格認定試験も全員が合格して本県の公認指導者が一挙に76名に急増したことは喜ばしい。

(4) 野外活動（スキー）指導者講習会

① 期 日

昭和49年12月26日～28日（2泊3日）

② 会 場

沼尻スキー場（耶麻郡猪苗代町）

③ 参加対象

ア、市町村教委社会体育担当者、公民館職員
イ、スポーツ少年団指導者
ウ、スキー教室、スキーグループ等の指導者

④ 内 容

ア、講義

- (ア) スキーの効果的な指導法
- (イ) スキー事故の防止と救急法について

イ、実技

- (ア) スキー指導法
- (イ) 救急法

ウ、研究協議

- (ア) スキー教室の計画・立案と運営上の問題
- (イ) スキーの大衆化とその指導体制の確立
- (ウ) スキーの安全管理

⑤ 講 師

福島大学教授	鈴木 勝衛
福島大学助教授	佐藤 克巳
日本赤十字救急法指導員	渡部 義健
全日本スキー連盟指導員	阿部 庄司
同	渡部 一男
同	斎藤 一
同	渡部 勝利
同	諏訪 俊英
県教育庁保健体育課指導主事	佐藤 十次
福島県スポーツ少年団本部事務局長	菅原重次郎

⑥ 概 況

スキー振興のために意欲を持つ指導者35名が参加し熱心に研修した。最終日に実施した技術検定試験の合格率も高く講習会の効果が実証された。

(5) 野外活動（キャンプ）指導者養成講習会

① 期 日

昭和49年7月12日～14日（2泊3日）

② 会 場

右田浜教育キャンプ場（相馬郡鹿島町）

③ 参加対象

- ア、市町村教委野外活動指導担当者
- イ、スポーツ少年団及び青少年団体の指導者
- ウ、野外活動施設の管理・指導者
- エ、各事業所・職場の労務・厚生担当者

④ 内 容

ア、講義

海浜、河畔等におけるキャンプの計画と運営について

イ、実習

- (ア) 設営・撤去法
- (イ) 野外炊事法
- (ウ) ゲームとキャンプソング
- (エ) キャンプファイヤー
- (オ) 海浜での水泳指導と水上安全法について

ウ、研究協議

キャンプ活動上の諸問題

⑤ 講 師

相馬市立向陽中学校長	吉田 重成
相馬高等学校教諭	島 紘一
相馬郡鹿島町体育指導委員	郡 芳一
日本赤十字社水上安全法指導員	水沢 嘉雄
相馬郡鹿島町公民館主事	鳥中 久夫
県教育庁保健体育課指導主事	佐久間貞良
同	佐藤 十次
同	渡辺 孝広

⑥ 概 況

参加者は16名と少なかったが、天候に恵まれ、地元関係者の協力を得て、内容のある講習会ができた。

(6) スポーツ活動指導者県内中央講習会

① 期 日

昭和49年5月7日～9日（2泊3日）

② 会 場

福島体育館、信夫丘球場、福島体育館附属合宿所

③ 参加対象

各教育事務所から推薦された壮年ソフトボール、家庭バレーボールの指導者35名

④ 内容・指導者

ア、講義

- (ア) 現代生活と自由時間について
福島大学教育学部教授 鈴木 勝衛
- (イ) 家庭バレーボールのルールについて
福島大学教育学部助教授 細川 健
- (ウ) 壮年ソフトボールのルールについて
福島市立北信中学校教諭 島貫 広

イ、実技

- (ア) レクリエーション指導の実際
福島市教育委員会社会教育課長佐藤利三郎
- (イ) 家庭バレーボール
福島市体育指導委員 志田 忠吉
- (ウ) 壮年ソフトボール